

Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

けんちく茨城

No. 82 June, 2013

[特集]

いばらき地域文化財専門技術者
育成研修報告

「ヘリテージマネージャー」
第1期生が誕生!

[報告]

平成25年度通常総会

[建築作品紹介]

古河市地域交流センター
「はなももプラザ」



目次

	平成25年度通常総会開催される	1
[報告]	平成24年度収支計算書	2
	平成25年度収支予算書	4
	平成25年度事業計画	6
	まちづくり委員会 いばらき地域文化財専門技術者育成研修報告 「ヘリテージマネージャー」第1期生が誕生!	
[建築作品紹介]	古河市地域交流センター「はなももプラザ」	12
[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 海野 好氏、池田 剛氏 インタビュー	15
[施設見学会報告]	茨城県木造建築物協議会「乾燥」「製材」「加工」「流通」一県産材の現場を見学	16
[県北ブロック協議会報告]	常陸大宮地区探訪 階段を50m下り、御前山ダムの「ダム底」へ	17
[県南ブロック協議会報告]	「東京スカイツリー」視察。その圧倒的高さと構造体の力強さを体感!	18
[県央支部報告]	東京近郊建築視察日帰りツアー第4弾! 「渋谷ヒカリエ」「浅草文化観光センター」「ホキ美術館」	19
	「スウェーデン式サウンディング」の講習会を開催「地盤調査」を理解しよう!	20
[ひたちなか支部報告]	娘のためにがんばる?!「ボウリング大会」報告	21
[青年委員会報告]	「木のワークショップ」開催 子どもたちと一緒に完成させた「1/2 軸組模型」	22
[女性部報告]	「家庭用燃料電池エネファーム・ ラブアークセミナー 最新ガス機器の体験型セミナー」に参加して	24
	わくわくセミナー 今年度も、仕事に活かせる充実の企画が目白押しです。	25
[会員委員会報告]	第16回会員美術展	26

会報 **けんちく茨城**

題字 **橋本 昌** 茨城県知事

2013年6月 第82号

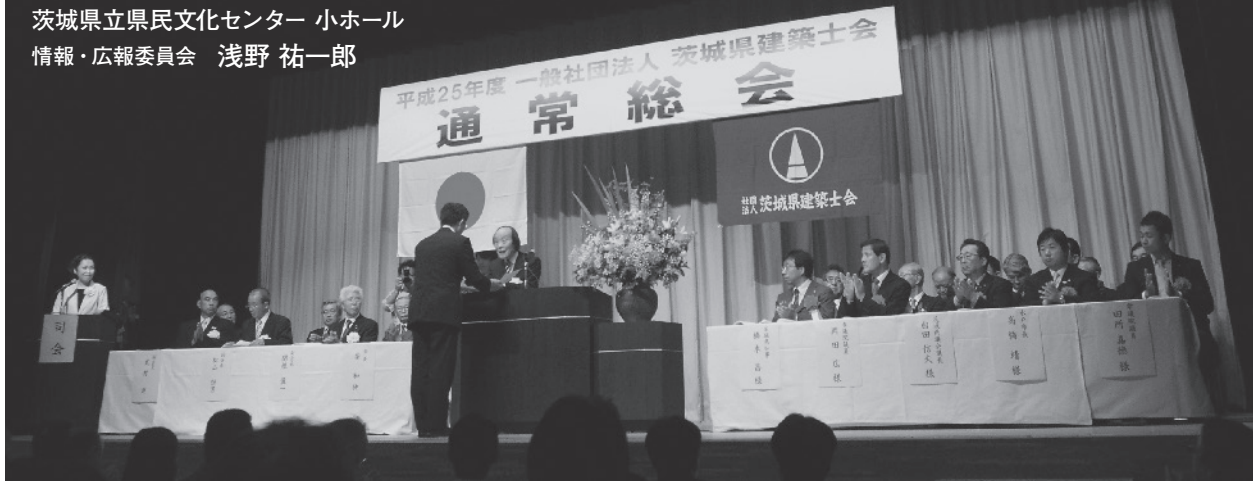
表紙写真 古河市地域交流センター
「はなももプラザ」

設計・監理 (株)戸頃建築設計事務所
所在地 茨城県古河市横山町1-5522-1外
建築面積 1,033.95㎡
延床面積 1,784.62㎡
構造・規模 RC造一部鉄骨造
地上2階建

発行 平成25年6月13日(年3回発行)
次回発行 平成25年10月8日予定
発行部数 2,700部
発行所 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330
Eメール kyy05413@nifty.com
編集 情報・広報委員会
デザイン 有限会社平井情報デザイン室
印刷所 株式会社あけぼの印刷社

平成25年度 通常総会開催される

平成25年5月24日(金)午後2時
茨城県立県民文化センター 小ホール
情報・広報委員会 浅野 祐一郎



平成25年度通常総会(第62回)が5月24日(金)、県民文化センター小ホールにおいて開催された。

関根副会長による「開会のことば」の後、柴会長があいさつ。昨年10月に行われた「全国大会いばらき大会」が会員各位の協力により成功裏に終わったこと、昨年度からの「木構造技術者育成講座」や「いばらき地域文化財専門技術者(ヘリテージマネージャー)育成研修」などの事業を今年度も積極的に継続していきたいこと、また会員の増強、特に若い会員の増強が重要課題であり、会員各位の協力を得ながら優先して取り組んでいきたいなど、新年度を迎えての抱負を述べた。

功労者表彰では、高萩支部豆澤時雄氏ら25名に表彰状が贈られたほか、会員増加優良表彰として筑西支部の大和田信雄支部長に感謝状が贈呈された。続いて「いばらき木造住宅提案コンペ」の表彰が行われ、茨城県木材協同組合連合会会長の打越芳男氏より最優秀賞他2点に表彰状が贈られた。

来賓祝辞では、橋本昌県知事代理として茨城県土木部都市局長の渡辺学氏、参議院議員の岡田広氏、県議会議長であり本会顧問でもある白田信夫氏、水戸市長であり本会顧問でもある高橋靖氏より、それぞれ祝辞をいただいた。

祝電披露の後、いよいよ議事に入り、平成24年度事業報告と収支決算、平成25年度事業計画案と収支予算案など4議案を審議、原案通り全会一致で可決、承認され議事は終了した。

最後に松山恒男副会長の閉会のことばにより平成25年度通常総会は無事に終了した。当日は323名の出席と334名の委任状があり定足数に達していたことを報告いたします。

総会終了後は文化センターグリルにおいて懇親会が開催され、多数の会員が親睦を深めた。

●来賓の方々

茨城県知事代理 土木部都市局長
参議院議員 自民党茨城県連会長
衆議院議員 建築士会顧問
茨城県議会議長 建築士会顧問
水戸市長 建築士会顧問
自民党茨城県連 参議院選挙区第1支部長
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長
茨城県土木部技監兼都市局住宅課長
茨城県土木部営繕課長
(一社)茨城県建築士事務所協会 会長
茨城県木材協同組合連合会 会長
日本建築学会関東支部茨城支所長
(一社)日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会 会長
(一社)茨城県設備設計事務所協会 会長
(一財)茨城県建築センター・センター長
(一社)茨城県建築士会 相談役
(一社)茨城県建築士会 相談役
(一社)茨城県建築士会 相談役
茨城新聞社 取締役営業局長
日本工業経済新聞社 水戸支局長
日本建設新聞社 水戸総局長

渡辺 学 様
岡田 広 様
田所 嘉徳 様
白田 信夫 様
高橋 靖 様
上月 良祐 様
大津 博之 様
江原 秀明 様
山田 茂 様
横須賀 満夫 様
打越 芳男 様
増澤 敬 様
天 茂彦 様
菊地 繁 様
内藤 初男 様
村田 省吾 様
滑川 浩一 様
田中 實 様
桜井 由起夫 様
小泉 孝司 様
井上 哲郎 様

平成24年度収支計算書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
入会金収入	入会金収入	入会金収入	210,000	196,500	13,500
会費収入	会費収入		33,618,000	32,740,300	877,700
		正会員会費収入	29,280,000	28,585,000	695,000
		準会員会費収入	648,000	510,300	137,700
		賛助会員会費収入	3,690,000	3,645,000	45,000
事業収入			53,644,000	63,223,941	△9,579,941
	講習会収入		5,636,000	13,714,846	△8,078,846
		法定定期講習会収入	2,016,000	2,779,846	△763,846
		総合研修会収入	2,460,000	1,776,000	684,000
		研修講習会収入	1,160,000	9,159,000	△7,999,000
	図書等頒布収入		8,750,000	8,098,548	651,452
		出版図書収入	5,300,000	4,253,400	1,046,600
		用紙等頒布収入	20,000	6,460	13,540
		幹旋図書収入	3,200,000	3,658,988	△458,988
		表示板頒布収入	230,000	179,700	50,300
	事業受託収入		29,858,000	33,500,447	△3,642,447
		試験受託収入	5,740,000	5,785,500	△45,500
		調査受託収入	3,045,000	9,435,000	△6,390,000
		判定士認定業務受託収入	2,673,000	2,673,000	0
		事務受託収入	900,000	936,087	△36,087
		震災関連業務受託収入	3,500,000	1,480,150	2,019,850
		耐震診断派遣業務受託収入	14,000,000	13,190,710	809,290
	手数料収入	二級・木造建築士事務手数料収入	3,120,000	2,840,300	279,700
	委員会等事業収入	事業収入	6,280,000	5,069,800	1,210,200
補助金等収入	事業助成金収入		200,000	8,209,361	△8,009,361
		連合会助成金収入	200,000	418,300	△218,300
		歴史的風致維持向上事業補助金収入	0	7,791,061	△7,791,061
雑収入			10,336,000	9,359,992	976,008
	受取利息収入		10,000	12,845	△2,845
	雑収入		10,326,000	9,347,147	978,853
		資料発送支部負担金収入	2,016,000	1,976,280	39,720
		広告協賛金収入	7,630,000	7,010,000	620,000
		雑収入	680,000	360,867	319,133
他会計からの繰入金収入	他会計からの繰入金収入		0	10,115,658	△10,115,658
事業活動収入計			98,008,000	123,845,752	△25,837,752

2. 事業活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
事業費支出			51,314,000	62,190,417	△10,876,417
	講習会費支出		3,550,000	7,967,076	△4,417,076
		法定定期講習会費支出	860,000	512,557	347,443
		総合研修会費支出	1,900,000	1,496,718	403,282
		研修講習会費支出	790,000	5,957,801	△5,167,801
	けんちく茨城印刷費支出		2,612,000	2,285,500	326,500
	情報通信普及推進費支出		500,000	193,140	306,860
	CPD制度推進費支出		354,000	141,335	212,665
	委託事業費支出		22,510,000	26,019,195	△3,509,195
		建築パトロール委託費支出	2,650,000	8,304,154	△5,654,154
		応急危険度判定士認定業務費支出	1,670,000	1,208,479	461,521
		試験業務実施費支出	1,600,000	2,042,412	△442,412
		事務受託支出	640,000	509,925	130,075
		震災関連業務費支出	3,150,000	1,831,025	1,318,975
		耐震診断派遣業務委託費支出	12,800,000	12,123,200	676,800
	普及宣伝費支出		1,525,000	1,397,757	127,243
		対社会的事業費支出	500,000	634,735	△134,735
		会員増強促進費支出	725,000	649,022	75,978
		広報費支出	300,000	114,000	186,000
	研修費支出		6,166,000	4,425,588	1,740,412
		研修費支出	1,635,000	568,981	1,066,019
		親睦事業費支出	4,531,000	3,856,607	674,393
	委員会費支出		1,924,000	1,627,655	296,345
	青年女性委員会活動費支出		3,251,000	1,154,994	2,096,006
	賛助会活動費支出		450,000	183,200	266,800
	助成金支出		0	100,000	△100,000

まちづくり活動費支出		622,000	508,931	113,069
会員名簿作成費支出		1,600,000	1,445,850	154,150
出版事業費支出		4,000,000	5,080,077	△1,080,077
	図書製本費支出	1,900,000	1,812,225	87,775
	法令用紙作成費支出	50,000	0	50,000
	幹旋図書仕入費支出	1,950,000	3,192,252	△1,242,252
	表示板仕入費支出	100,000	75,600	24,400
地域貢献活動費支出		2,250,000	2,869,058	△619,058
歴史的風致維持向上推進調査費		0	6,791,061	△6,791,061
管理費支出		57,727,100	54,397,980	3,329,120
	給料手当支出	19,125,000	19,844,710	△719,710
	給料支出	14,061,000	14,485,860	△424,860
	手当支出	5,064,000	5,358,850	△294,850
中退金掛金支出		432,000	421,400	10,600
福利厚生費支出		6,680,000	3,258,660	3,421,340
会議費支出		4,953,000	4,168,155	784,845
	総会費支出	2,542,000	2,326,483	215,517
	理事会費支出	886,000	877,730	8,270
	諸会議費支出	1,525,000	963,942	561,058
会計報酬支出		300,000	168,000	132,000
租税公課費支出		2,500,000	3,061,100	△561,100
負担金支出		10,557,000	9,847,518	709,482
	連合会費支出	8,665,000	8,449,730	215,270
	関プロ会費支出	1,092,000	782,588	309,412
	団体会費支出	800,000	615,200	184,800
旅費交通費支出		350,000	282,090	67,910
通信運搬費支出		3,700,000	3,528,000	172,000
什器備品費支出		100,000	236,675	△136,675
消耗品費支出		1,000,000	955,937	44,063
印刷製本費支出		1,200,000	698,564	501,436
地代支出		378,000	378,000	0
慶弔費支出		1,900,000	2,327,647	△427,647
家賃支出		1,052,100	1,052,100	0
事務所共益費支出		780,000	783,900	△3,900
機械借損費支出		2,020,000	2,409,346	△389,346
雑支出		700,000	976,178	△276,178
予備費支出		1,504,344	0	1,504,344
他会計への繰入金支出	他会計への繰入金支出	6,500,000	6,500,000	0
事業活動支出計		117,045,444	123,088,397	△6,042,953
事業活動収支差額		△19,037,444	757,355	△19,794,799

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
特定資産取崩収入	積立預金収入	全国大会いばらき積立預金取崩収入	6,500,000	9,000,000	△2,500,000
投資活動収入計			6,500,000	9,000,000	△2,500,000

2. 投資活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
特定資産取得支出	積立預金取得支出		4,200,000	11,200,000	△7,000,000
		運営資金積立預金取得支出	3,000,000	10,000,000	△7,000,000
		70周年積立預金取得支出	500,000	500,000	0
		関プロ茨城積立預金取得支出	200,000	200,000	0
		災害積立預金取得支出	500,000	500,000	0
投資活動支出計			4,200,000	11,200,000	△7,000,000
投資活動収支差額			2,300,000	△2,200,000	4,500,000

III 財務活動収支の部

1. 財務活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
財務活動収入計			0	0	0

2. 財務活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
財務活動支出計			0	0	0
財務活動収支差額			0	0	0
当期収支差額			△16,737,444	△1,442,645	△15,294,799
前期繰越収支差額			16,737,444	16,737,444	0
次期繰越収支差額			0	15,294,799	△15,294,799

平成25年度収支予算書

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成25年度予算額(A)	平成24年度予算額(B)	差額(A-B)
入会金収入	入会金収入	入会金収入	190,000	210,000	△20,000
会費収入	会費収入		33,006,000	33,618,000	△612,000
		正会員会費収入	28,620,000	29,280,000	△660,000
		準会員会費収入	486,000	648,000	△162,000
		賛助会員会費収入	3,900,000	3,690,000	210,000
事業収入			45,361,600	95,644,000	△50,282,400
	講習会収入		8,225,200	5,636,000	2,589,200
		法定定期講習会収入	1,915,200	2,016,000	△100,800
		総合研修会収入	1,950,000	2,460,000	△510,000
		研修講習会収入	4,360,000	1,160,000	3,200,000
	図書等頒布収入		7,500,000	8,750,000	△1,250,000
	全国大会収入		0	42,000,000	△42,000,000
	事業受託収入		19,320,000	29,858,000	△10,538,000
		試験受託収入	5,850,000	5,740,000	110,000
		調査受託収入	3,000,000	3,045,000	△45,000
		判定士認定業務受託収入	2,670,000	2,673,000	△3,000
		事務受託収入	800,000	900,000	△100,000
		震災関連業務受託収入	0	3,500,000	△3,500,000
		耐震診断派遣業務受託収入	7,000,000	14,000,000	△7,000,000
	手数料収入		2,658,000	3,120,000	△462,000
	委員会部会等事業収入	事業収入	7,658,400	6,280,000	1,378,400
補助金等収入	事業助成金収入		200,000	200,000	0
		連合会助成金収入	200,000	200,000	0
		歴史的風致維持向上事業補助金収入	0	0	0
雑収入			6,925,000	10,336,000	△3,411,000
	受取利息収入		15,000	10,000	5,000
	雑収入		6,910,000	10,326,000	△3,416,000
		資料発送支部負担金収入	1,920,000	2,016,000	△96,000
		広告協賛金収入	4,660,000	7,630,000	△2,970,000
		雑収入	330,000	680,000	△350,000
事業活動収入計			85,682,600	140,008,000	△54,325,400

2. 事業活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成25年度予算額(A)	平成24年度予算額(B)	差額(A-B)
事業費支出			44,496,700	99,814,000	△55,317,300
	講習会費支出		4,240,000	3,550,000	690,000
		法定定期講習会費支出	650,000	860,000	△210,000
		総合研修会費支出	1,400,000	1,900,000	△500,000
		研修講習会費支出	2,190,000	790,000	1,400,000
	全国大会費支出		0	48,500,000	△48,500,000
	けんちく茨城印刷費支出		2,430,000	2,612,000	△182,000
	情報通信普及推進費支出		470,000	500,000	△30,000
	CPD制度推進費支出		324,000	354,000	△30,000
	委託事業費支出		12,318,000	22,510,000	△10,192,000
		調査業務実施費支出	2,450,000	2,650,000	△200,000
		応急危険度判定士認定業務費支出	1,250,000	1,670,000	△420,000
		震災関連業務費支出	0	3,150,000	△3,150,000
		耐震診断派遣業務委託費支出	6,500,000	1,280,000	△6,300,000
		試験業務実施費支出	1,550,000	1,600,000	△50,000
		事務受託支出	568,000	640,000	△72,000
	普及宣伝費支出		1,250,000	1,525,000	△275,000
		対社会の事業費支出	500,000	500,000	0
		会員増強促進費支出	450,000	725,000	△275,000
		広報費支出	300,000	300,000	0
	研修費支出		9,533,700	6,166,000	3,367,700
		研修費支出	1,600,000	1,635,000	△35,000
		親睦事業費支出	7,933,700	4,531,000	3,402,700
	委員会費支出		1,920,000	1,924,000	△4,000
	青年女性委員会活動費支出		3,151,000	3,251,000	△100,000
	賛助会活動費支出		400,000	450,000	△50,000
	助成金支出		1,250,000	0	1,250,000
	まちづくり活動費支出		2,280,000	622,000	1,658,000
	会員名簿作成費支出		0	1,600,000	△1,600,000
	出版事業費支出		2,930,000	4,000,000	△1,070,000

歴史的風致維持向上推進調査費		0	0	0
地域貢献活動費支出		2,000,000	2,250,000	△ 250,000
管理費支出		52,722,500	57,727,100	△ 5,004,600
給料手当支出		21,856,000	19,125,000	2,731,000
	給料支出	16,380,000	14,061,000	2,319,000
	手当支出	5,476,000	5,064,000	412,000
中退金掛金支出		672,000	432,000	240,000
福利厚生費支出		3,976,000	6,680,000	△ 2,704,000
会議費支出		2,394,600	4,953,000	△ 2,558,400
	総会費支出	1,700,000	2,542,000	△ 842,000
	理事会費支出	900,000	886,000	14,000
	諸会議費支出	815,000	1,525,000	△ 710,000
会計報酬支出		252,000	300,000	△ 48,000
租税公課費支出		450,000	2,500,000	△ 2,050,000
負担金支出		9,591,800	10,557,000	△ 965,200
	連合会費支出	8,456,400	8,665,000	△ 208,600
	関プロ会費支出	785,400	1,092,000	△ 306,600
	団体会費支出	350,000	800,000	△ 450,000
旅費交通費支出		300,000	350,000	△ 50,000
通信運搬費支出		3,750,000	3,700,000	50,000
什器備品費支出		120,000	100,000	20,000
消耗品費支出		980,000	1,000,000	△ 20,000
印刷製本費支出		650,000	1,200,000	△ 550,000
地代支出		378,000	378,000	0
慶弔費支出		2,250,000	1,900,000	350,000
家賃支出		1,052,100	1,052,100	0
事務所共益費支出		800,000	780,000	20,000
機械借損費支出		2,300,000	2,020,000	280,000
雑支出		950,000	700,000	250,000
予備費支出		2,058,199	1,504,344	553,855
事業活動支出計		99,277,399	159,045,444	△ 59,768,045
事業活動収支差額		△ 13,594,799	△ 19,037,444	5,442,645

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成25年度予算額(A)	平成24年度予算額(B)	差額(A-B)
特定資産取得収入	積立預金取崩収入		0	6,500,000	△ 6,500,000
		運営資金積立預金取崩収入	0	0	0
		60周年積立預金取崩収入	0	0	0
		関プロ茨城大会積立預金取崩収入	0	0	0
		災害積立預金取崩収入	0	0	0
		全国大会いばらき積立預金取崩収入	0	6,500,000	△ 6,500,000
	貸付金回収収入	長期貸付金収入	0	0	0
投資活動収入計			0	6,500,000	△ 6,500,000

2. 投資活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成25年度予算額(A)	平成24年度予算額(B)	差額(A-B)
特定資産取得支出	積立預金取得支出		1,700,000	4,200,000	△ 2,500,000
		全国大会いばらき大会積立預金取得支出	0	0	0
		運営資金積立預金取得支出	500,000	3,000,000	△ 2,500,000
		70周年積立預金取得支出	500,000	500,000	0
		災害積立預金取得支出	500,000	500,000	0
		関プロ茨城積立預金取得支出	200,000	200,000	0
投資活動支出計			1,700,000	4,200,000	△ 2,500,000
投資活動収支差額			△ 1,700,000	2,300,000	△ 4,000,000

III 財務活動収支の部

1. 財務活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成25年度予算額(A)	平成24年度予算額(B)	差額(A-B)
財務活動収入計			0	0	0

2. 財務活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成25年度予算額(A)	平成24年度予算額(B)	差額(A-B)
財務活動支出計			0	0	0
財務活動収支差額			0	0	0
当期収支差額			△ 15,294,799	△ 16,737,444	1,442,645
前期繰越収支差額			15,294,799	16,737,444	△ 1,442,645
次期繰越収支差額			0	0	0

平成25年度事業計画

指導育成

01. 会員の増強及び組織の強化
02. 安心安全な木造住宅プロジェクトの推進
03. 木造建築構造技術者養成事業
04. 建築士試験の実施受託
05. 一級建築士免許申請事務の実施
06. 二級・木造建築士登録事務の実施
07. 建築士法第22条第2項による「定期講習」の実施受託
08. 建築士法第22条第4項による「全ての建築士のための総合研修会」の開催
09. 建築パトロール調査の実施受託
10. 木造住宅耐震診断士派遣事業の受託
11. 応急危険度判定士の更新及び登録事務の実施受託
12. 緑化推進事業(苗木配布等)の推進
13. 災害発生時支援活動の協力体制の充実と災害積立金の実施
14. 全国被災建築物応急危険度判定協議会への協力
15. まちづくり事業の推進及び地域貢献事業の実施
16. 建築士の継続能力開発(CPD)制度の推進
17. 関東甲信越建築士会ブロック会青年協議会「千葉大会」への参加促進
18. 建築士会全国大会「しまね大会」への参加促進
19. 建築士賠償・工事賠償責任補償制度への加入促進
20. 茨城県建築物安全安心実施計画の協力

21. 北関東ブロックにおける専攻建築士の登録及び受付

22. ホームページによる情報提供・広報の推進

調査研究

01. 建築士業務の適正運営の推進に関すること
02. 新規事業の企画・立案に関すること

情報の提供及び図書等の斡旋

01. 会報の発行・支部との各種情報の交換(会員への情報提供)
02. 建築確認申請・建築許可・都市計画法関係諸書式の頒布
03. 建築士受験関係図書その他参考図書の斡旋

国家褒章等

01. 国家褒章等の上申
02. 連合会表彰の上申及び功労者表彰
03. 会員増加優良支部の表彰
04. 建築優良作品の推薦

その他

01. 行政機関及び関係諸団体との協力
02. 本会の目的を達成するため必要な事業

一般社団法人

茨城県電設業協会

〒310-0852

水戸市笠原町 1754-4

TEL **029-305-7301**

FAX **029-243-1523**



E.C.C. IBARAKI 茨城工コ事業所AAA

21.5 世紀の水戸空間を創る

株式会社 関根工務店

茨城工コ事業所に登録が認定されています。地域の環境に配慮した取組みを実践していきたいと思っております。様々なお客様のニーズにあわせたデザイン・施工をご提案させていただきます。

〒310-0033 水戸市常盤町2-3-17 Tel.029-221-4789 Fax.029-231-6198
URL: <http://www.sekine-cs.jp> E-mail: info@sekine-cs.jp



美しい自然を望む、やさしさと
思いやりのアーバンリゾートホテル



水戸駅南口より徒歩3分
婚礼・宴会・宿泊・会議など
様々なニーズにお応えします

〒310-0015 茨城県水戸市宮町1-6-1
●JR水戸駅(南口)下車徒歩3分 ●駐車場240台
お問い合わせ・ご予約 029-224-2727



HOTEL LAKE VIEW MITO

Twitter Facebook

会員増強にぜひご協力を！

建築士のお知り合いを お一人ご紹介ください。

一緒に活動する仲間を増やしていきましょう。
お問い合わせは、事務局まで。

TEL **029-305-0329**

FAX **029-305-0330**



一般社団法人
茨城県建築士会

「ヘリテージ マネージャー」 第1期生が誕生！

地域固有の
かけがえのない
歴史的資産を
まもるために、
建築士にできること。

「ヘリテージマネージャー」とは、地域における文化的価値のある歴史的建築物の発掘・保存・活用を担う専門家のこと。阪神大震災後、兵庫県建築士会から始まったこの育成制度が、昨年度からここ茨城においてもスタート。31人の「ヘリテージマネージャー第1期生」が誕生するまでの8ヵ月間の模様を報告します。

〔報告〕

梶 ひろみ (茨城県建築士会まちづくり委員会委員長)

杉田 次夫 (茨城県建築士会まちづくり委員会副委員長)

はじめに

東日本大震災とその余震は、県内各地の歴史的建築物に重大な被害をもたらしました。重要伝統的建造物群保存地区に選定されている桜川市真壁地区以外では、震災を契機に、活用の検討がされないまま解体されることが多く、歴史的なまち並みが急速に失われています。

この背景として、日常では修復等の現場が少なく、技術習得の機会が無いことにより、歴史的な建物の

調査を行う専門家や伝統的な工法による修復等の技術をもった職人が不足していることが大きな要因となっています。

そこで、茨城県建築士会景観整備機構の窓口となっているまちづくり委員会では、昨年度、「いばらき地域文化財専門技術者育成研修2012」を開講しました。建築士会連合会ではヘリテージマネージャー講習と呼ばれており、地域に埋もれた文化的価値のある歴史的建築物の発掘・保存・活用を担う専門家を育

第1回 平成24年7月14日

「開校式・オリエンテーション」 「登録文化財制度について」



実際に被災した
歴史的建物
での実習という、
他県では例のない
貴重な研修に。

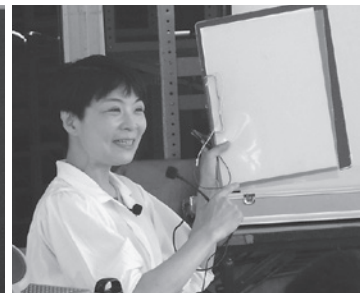
第2回 8月4日

「景観法と 歴史まちづくり法」ほか

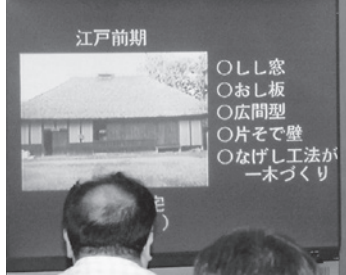


第3回 8月18日

「歴史的 建造物調査」ほか



第1回：開校式・オリエンテーションに続き、「文化財保存の課題と技術」などの講義を受け、その後の交流会では自己紹介や意見交換を行いました。[講師：文化財保護主事 中嶋則夫氏、文化財保護審議委員 神戸信俊氏、桜川市役所学芸員 寺崎大貴氏]
第2回：茨城県近代美術館にて「景観法について」「歴史まちづくり法」「文化財入門」などについて、事例を交えながらの講義を受けました。[講師：茨城県計画課主任 福田聡氏、茨城県計画課技師 太田恒平氏、文化庁調査官 梅津章子氏]



第3回：歴史的建造物調査について、現地での具体的な調査手順や、実測の方法、図面（野帳）の書き方の講義を受けました。また、修復の方針を立てる際には、聞き取りや関連資料、時代背景などをふまえた上で建物の造りを深く観察することが必要であることを学びました。[歴史的建築物調査実習講師：長岡造形大学研究員 金出ミチル氏]
第4回：前回に続き、土蔵現場のある常陸太田市鯨ヶ岡での研修。講義の後、実際の現場を見て歩きました。午後は調査実習のまとめとして、前回の実測の結果をCADで図面にしたもの各自持ち寄り、その内容を確認しました。[講師：常陸太田市役所学芸員 西野保氏、筑波大学大学院教授 藤川昌樹氏、長岡造形大学研究員 金出ミチル氏]

成・登録する制度として、阪神淡路大震災後、兵庫県建築士会において2001年度よりスタートしたのが最初で、2012年度には全国で15の建築士会が実施しています。今回の研修1期目の大きな特徴としては、被災している建物において現場実習を行った点で、他県では例がない研修となりました。

[課題] 地域に埋もれる資産

歴史的な建物やまち並みは、地域の歴史と暮らしを今に伝え、個性あるまちづくりや景観づくりにつなげることができるそのまち固有の大切な資産ですが、所有者や地域住民に歴史的価値を認識されず地域に埋もれている場合が多く、こうした価値を専門家による調査で見出し、保存・活用等の提言を行い、地域づくりに活かしていくことは、良好な景

観や歴史的なまち並みの形成を図る上で重要な課題となっています。

[目的] 被災時における対応

技術の伝承と技術者育成を行ない、被災時に県内や近隣県との間で技術者を融通できるネットワークシステムを構築すること、また、保存すべき歴史的建築物の活用を提案し、所有者や管理者・行政との調整をするコーディネーターを育成すること、こ

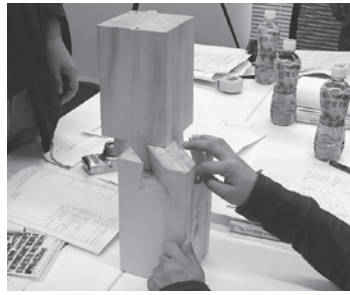
第4回 9月8日

「常陸太田市鯨ヶ丘 歴史的建造物調査」ほか



第5回 10月27日

「歴史的建造物の 伝統工法と技法」

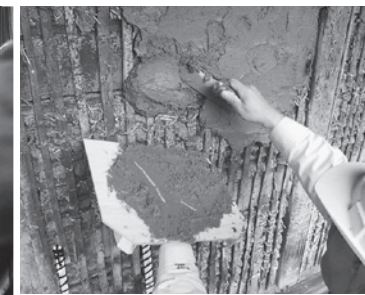


第6回 11月17日

「文化財修理現場実習」



建物の
所有者や管理者など
地域における
ネットワークづくりが
不可欠。



第5回：材木を刻んで柱の仕口づくりの実習を行いました。現物見本を見ながら解説を受け、実際に製作しました。釘を使わずに柱を繋ぎ合わせる仕口はよく考えられており、高度な加工技術と手間を要するものでした。[講師：桜川市役所文化財グループ長 仁平昌則氏、現場実習（木材加工）講師：文化財修復家 川村哲夫氏]

第6回：長屋門の両端の土壁を改修しました。小舞の破損箇所は竹の芯にシュロ縄を巻いたものをつくり、古い小舞に打ち付け、真壁の土と藁をまぜて発酵させた土に、さらに砂をまぜたものを壁に塗るといった作業を行いました。[現場実習講師：左官一級技能士・谷田部隆二氏、中座重徳氏、谷田部昌芳氏]

れらにより、被災時に対応できる歴史的まちづくりの人材の確保といった課題に対応することを目的とします。

[講座の特徴]

被災現場での実習

平成24年7月14日から全10回、計60時間の研修を実施しました。全5回の座学その他、4回の現場実習で文化財の調査・修復を学び、7回目では被災したまち並みや建物の修復状況の視察を行いました。

[成果と課題]

地域との連携

現場実習を多く取り入れた研修により、実際に被災した歴史的建築物の修復過程や伝統工法の特徴を学ぶことができ、専門技術者への大きな第一歩を踏み出すことができました。また、研修の中で「地域ごとに歴史的建築物の発見・調査・改修・活用の提言をおこなう」という宿題を進め、グループごとにプレゼンテーションを行いました。宿題を進める

過程において所有者や管理者、行政との調整は必要不可欠であり、地域文化財専門技術者（ヘリテージマネージャー）が今後地域において果たすであろう役割を、すでに育成研修の中で担うこととなり、コーディネーターとしての第一歩を踏み出したと同時に、地域ネットワークも見えてきました。

今後、修了生がさらにステップアップするためには、まずは実際に「歴史的建築物の保全・活用等の提案・調整」を業務として行うことが必要であり、そのための環境を整えていかな

第7回 12月8日

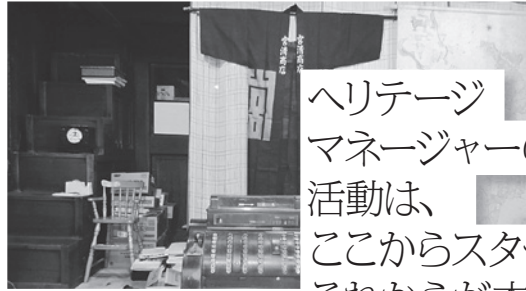
「歴史的な まち並み視察」



第7回：歴史的なまち並み視察として、つくば市北条地区、石岡市、国府町などを視察しました。とくに土浦市の矢口家では、伝統工法による修復中の現場を間近に見ることができ、大変参考になりました。[講師：筑波大学大学院教授 藤川昌樹氏、文化財保護審議委員 神戸信俊氏]

第8回 平成25年1月19日

「歴史的建造物の 耐震診断」ほか



第8回：桜川市伝承館にて「歴史的建造物の耐震診断・耐震補強」などについての講義を受けました。[講師：独立行政法人建築研究所 長谷川直司氏、小山工業高等専門学校校長 荻谷勇雅氏、建築学科助教 横内基氏]
第9回：「私の見つけた地域文化財発表会」と題し、発掘・調査・保存・活用方法を発表しました。[講師：静岡県建築士会景観整備機構副代表 塩見寛氏]

第9回 2月16日

「私の見つけた 地域文化財発表会」



第10回：全国各地でのヘリテージマネージャーの活動実態について講義を受けました。実際の修復作業についての詳細な説明は、受講生たちの“みちるべ”となりました。以上で全10回の講座が終了。修了証が交付され、茨城県初となる「ヘリテージマネージャー」31名が誕生しました。[講師：横浜国立大学理工学部准教授 大野敏氏、ひょうごヘリテージ機構代表世話人 沢田伸氏]

第10回 3月2日

「ヘリテージマネージャーの 活動実態」ほか



ヘリテージ
マネージャーの
活動は、
ここからスタート、
これからが本番。

ければなりません。また、技術の習得にはまだまだ経験が必要で、研修修了後もさらにステップアップできるような研修を展開し、参加者同士でネットワークをつくりながら実践的に試行錯誤していくことが必要です。

今後に向けて

平成25年3月2日、10回の講座が全て終了となり、41名の受講生中、31名の茨城県初ヘリテージマネージャーが誕生しました。

これで終わりではなく、ヘリテージマネージャーの活動はこれからがスタートであることを再確認し、全過程を終了しました。

計60時間という長丁場の研修でしたが、設計事務所のほか大工職等の技術者の方々にも多数参加いただき、共に汗を流しながら切磋琢磨する時間を過ごしました。今年度も継続して「いばらき地域文化財専門技術者育成研修」を実施してまいります。ぜひ多くの会員の皆さまに受講いただきますようご案内申し上げます。

研修修了者 31名 (平成25年3月2日現在)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 秋葉 正美 (那珂市) | 鈴木 孝和 (桜川市) |
| 飯塚 正一 (常総市) | 高橋 斎 (阿見町) |
| 池田 恵子 (稲敷市) | 高橋 文男 (鹿嶋市) |
| 市村 和也 (桜川市) | 高宮 英司 (筑西市) |
| 岩永 幸呼 (つくば市) | 武村 実 (桜川市) |
| 梅田 太一 (東京都台東区) | 津田 政昭 (水戸市) |
| 江面 松男 (下妻市) | 津田 むつみ (筑西市) |
| 大木 誠 (桜川市) | 富田 清一 (石岡市) |
| 岡田 一夫 (常総市) | 永井 昭夫 (小美玉市) |
| 小沼 勝意 (水戸市) | 二宮 正志 (桜川市) |
| 小谷野 栄次 (結城市) | 根本 洋一朗 (水戸市) |
| 梶 ひろみ (常陸大宮市) | 羽藤 厚之 (取手市) |
| 兼子 光弘 (かすみがうら市) | 藤原 誠人 (笠間市) |
| 神田 仁 (稲敷市) | 若林 光春 (取手市) |
| 久保田 綾子 (土浦市) | 渡辺 清一 (桜川市) |
| 杉田 次夫 (下妻市) | |

第1期「いばらき地域文化財専門技術者育成研修カリキュラム」(計10日間60単位)

日程	内容	教科内容	講師(敬称略)	会場
第1回 平成24年 7月14日	開校式・オリエンテーション	開校式	文化財保護主事 中嶋 則夫	茨城県 開発公社ビル
		オリエンテーション		
	登録文化財制度について	文化財保存の課題と技術	文化財保護審議委員 神戸 信俊	
		登録文化財制度について	桜川市役所学芸員 寺崎 大貴	
		交流会(自己紹介・意見交換)		
第2回 8月4日	景観法と歴史まちづくり法	景観法について	茨城県計画課主任 福田 聡	茨城県 近代美術館
		歴史まちづくり法・事例紹介	茨城県計画課技師 太田 恒平	
	文化財の保存と活用	文化財入門	文化庁調査官 梅津 章子	
		文化財建造物の保存と活用		
第3回 8月18日	歴史的建造物調査	歴史的建造物調査等について	長岡造形大学研究員 金出 ミチル	常陸太田市 土蔵現場
	調査・所見作成演習 (常陸太田市土蔵)	常陸太田市郷土資料館分館 (土蔵)の調査実習		
第4回 9月8日	常陸太田市鯨ヶ丘 歴史的建造物調査	歴史まちづくりの経緯紹介	常陸太田市役所学芸員 西野 保	常陸太田市 土蔵現場
		事例紹介	筑波大学大学院教授 藤川 昌樹	
	改修工事の設計演習 (常陸太田市土蔵)	常陸太田市郷土資料館分館 の設計実習・まとめ	長岡造形大学研究員 金出 ミチル	
第5回 10月27日	歴史的建造物の 伝統工法と技法	現場説明および見学	桜川市役所文化財グループ長 仁平 昌則	桜川市真壁 改修現場
		構造の継手工法の説明	文化財修復家 川村 哲夫	
	文化財修理現場実習 (桜川市真壁)	現場実習(木材加工)		
第6回 11月17日	文化財修理現場実習 (桜川市真壁)	現場実習(小舞)	左官一級技能士 谷田部 隆二、 中座 重徳、谷田部 昌芳	桜川市真壁 改修現場
		現場実習(土蔵)		
第7回 12月8日	歴史的なまち並み視察	つくば市北条地区・石岡市・ 土浦市他	筑波大学大学院教授 藤川 昌樹 (文化財保護審議委員 神戸 信俊)	
第8回 平成25年 1月19日	歴史的建造物の耐震診断	耐震診断・耐震補強	独立行政法人建築研究所 長谷川 直司	桜川市 伝承館
	歴史的建造物の 耐震補強・防災	文化財と防災	小山工業高等専門学校校長 苅谷 勇雅 建築学科助教 横内 基	
第9回 2月16日	私の見つけた地域文化財発表 会(地域ごとに歴史的建造物の発掘・ 調査・保存・活用の提言をまとめる)	歴史的建造物を活かし、地域を生かす ～静岡県における歴史的建造物の保全・ 活用を通して～ グループごとに発表・総評	静岡県建築士会景観整備機構 副代表 塩見 寛	茨城県 開発公社ビル
第10回 3月2日	ヘリテージマネージャーの 活動実態 ほか	修理設計と維持管理	横浜国立大学理工学部准教授 大野 敏	茨城県 開発公社ビル
		ヘリテージマネージャーの活動実態	ひょうごヘリテージ機構代表世話人 沢田 伸	
		グループディスカッション・修了証交付式		

総合建設・設計・施工【創業1911年】

—— 新築・増改築・リフォーム・古民家再生・社寺建築 ——

一級建築士事務所 **石島工務店**

代表 一級建築士 石島 隆

〒309-1202 茨城県桜川市飯淵267 TEL 0296-75-1439 FAX 0296-75-0808

古河市地域交流センター 「はなももプラザ」

周辺の景観に配慮しながら
地域住民の交流の場と新たな観光拠点を
融合させた魅力ある施設をめざして



施設全景

観光拠点施設としての 地域コミュニティセンター

古河市地域交流センター「愛称：はなももプラザ」は古河駅西側に位置し、かつての繁華街であった横山町柳通りに面して建てられました。古河駅西口地区は、その昔古河城があり町の中心地でした。その頃建てられた歴史ある建物が今なお数多く残っています。また文学や絵画などで傑出した人物を輩出しており、古河市では以前より歴史のまちとして歴史博物館の建設や、建物の保存や活用方法を検討し、移築整備して観覧できるようにするなど、古河の歴史を後世に伝えるとともに、歴史をキーワードとした魅力ある観光都市の推進を図っています。

施設はそうした中で地域の公民館が老朽化したことに伴い、代替え施

設として地域住民のコミュニティーセンター機能と、古河の歴史や近隣の景観を取り込んだ観光交流の拠点となる機能を盛り込み、まちづくり交付金を得て建設されました。

景観を取り込むための歴史的背景

施設が面する柳通りは旧日光街道であり、横山町周辺は“古河宿”として人と物流が行き交い大いに賑わいました。横山町に限らず古河市内に現残する建物はおもに通りに面して店と蔵が一体となった“見世蔵”と言われるものです。建てられた時代によって外壁の仕上げは変化しており、土壁や大谷石が比較的多く見られますが、近代になって野木に煉瓦工場があったことから、外壁に煉瓦を使用する見世蔵もあり表情は様々、桁行や張間が交互に見える屋

根並みもリズムカルで、これらが古河特有の景観と雰囲気醸し出しています。

また、横山町発祥で関東の奇祭といわれている“提灯竿もみ祭り”は、柳通りで行われており、竹で“矢来”を組み、大勢がその中で20mを超える竿をもみ合いながら行う様子は圧巻です。祭りや町の催しで使われ、かつては荘厳であったであろう“屋台”は朽ちて倉庫に保管されており、どうにか復元できないかということも検討されていました。これらを組み合わせ地域から愛されるコミュニティー施設、情報発信できる観光の拠点施設をうまく融合させた施設となるよう計画しました。

地域コミュニティの拠点として

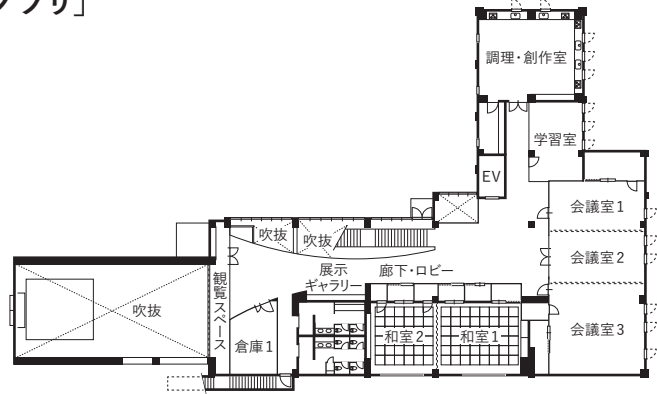
敷地の広さには制約があり、公民

古河市地域交流センター「はなももプラザ」

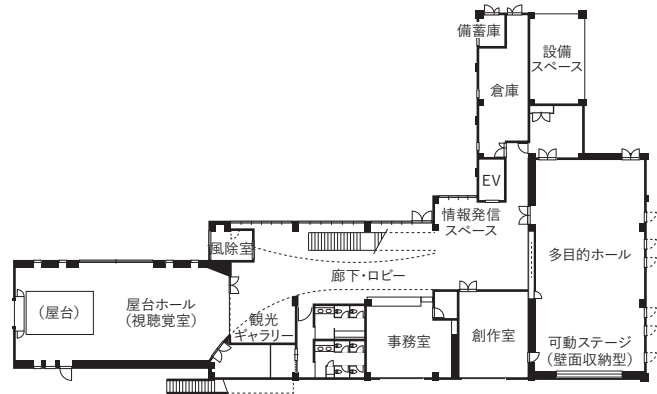
設計・監理 (株)戸頃建築設計事務所
 所在地 茨城県古河市横山町1-5522-1外
 建築面積 1,033.95㎡
 延床面積 1,784.62㎡
 構造・規模 RC造一部鉄骨造、地上2階建



上：1階屋台ホール
 下：柳通りより屋台ホール側夜景



2階



1階

館機能を満足する面積と駐車場台数の確保、そこに観光交流の拠点となる空間の確保を考慮して2階建てとしました。ここで交流の考え方を2つに分け、1階を「動」の交流と位置づけ、対して2階を「静」の交流空間として計画しました。

「動」の空間は多数人が様々なイベントに使える部屋と、創作などの活動がガラスパーティションを通して見学できる部屋などを配置するとともに、表通りに面して“屋台”を展示し、地域発想での活用ができる部屋を配置しました。

「静」としては会議や研修、比較的静かなカルチャー教室などの生涯学習に利用できる部屋を配置しています。併せて2階から見下げて“屋台”を鑑賞できるスペースを設けて上下階を関連付け、観光客を2階まで引

き込む仕掛けを考えました。

動線は単純明快で1階、2階いずれも中央のホールを広くとって、交流動線に余裕を持たせ、活動の合間の休憩や井戸端会議など、ソファさえあればどこでも座って話ができるような計画としました。ホールには緩やかなカーブを描いた吹き抜けを設け、上下階を豊かな空間で一体化し、賑わいを分断しないようにしています。駐車場側に大きなカーテンウォールとして、アルミ部材をあたたかも竹で組んだ“矢来”に見立て、ここに“提灯竿”を展示することを考えました。また、駐車場でのイベントや“提灯竿もみ祭り”を行う際に、施設内にいながら外と内のコミュニティーの一体感を創出するホールとして計画しています。

周辺の景観を意識した観光集客・情報発信拠点として

観光交流部門としての目玉は、朽ちていた“屋台”を修復し展示するということでしたが、展示にとどまらず以前のようにイベント時に使用し、しかも地域の企画で利用できたら地域と観光交流の融合になるのではと考え、屋内外で使用することを念頭に“屋台ホール”を考えました。また施設内に入らなくても、屋台の良いところだけが目に入るよう通りに面して絵画の額のように窓枠を設け、ガラス越しに観光客にアピールできる仕掛けを考えました。屋台は彩色豊かな漆で塗られており、西日による塗膜の劣化を考慮して開口面積の検討とガラス種類を選定しています。

エントランス脇にホールを設け、モニターによる観光情報配信をする



駐車場より

とともに、江戸時代にここを治めた殿様が研究した“雪華図”模様を施設に取り入れるなど、郷土を紹介する観光の拠点施設として利用されることを念頭に計画しています。

建物自体の構造は鉄筋コンクリー

ト造ですが、外観のイメージは古河ならではの“見世蔵”を意識し、周囲に馴染むよう配慮しつつアレンジして、現代版の“見世蔵”として造り込んでおり、屋根形態や外壁仕上げは、近隣の景観や建物に馴染むよう

配慮しています。

以上のように周辺の景観や歴史的な背景に沿って作り込んでいくことにより、地域住民から愛される地域交流の場と、観光の拠点の融合を図ることができたと考えています。

■企画・設計・監理



株式会社 戸頃建築設計事務所

代表取締役社長 戸頃 久子

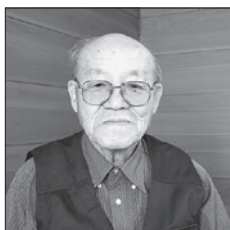
取締役 所長 小川 憲一

〒310-0043 水戸市松が丘 1-2-23 TEL: 029-226-4869(代) FAX: 029-226-4894

E-mail: tokoro@mbb.nifty.com

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第20回となる今回は、県庁支部の海野 好氏と、日立支部の池田 剛氏を訪問し話を伺いました。

聞き手=情報・広報委員会 浅野 祐一郎、石黒 幸喜



「“無から有へ”の時代の思い出が強く印象に残ります」

海野 好氏 (県庁支部)

昭和5年生まれ/終身会員/昭和29年入会/会員歴59年

【主な経歴】東京都出身。終戦前に水戸に移り、昭和24年に茨城県庁に入庁。その後一級建築士、建築主事の資格を取得し、建築、住宅、都市計画、木造住宅室長などとして長く県の建築行政に携わる。日本の高度成長期であった昭和38年ごろには、鹿島臨海工業地帯の開発を手がけ、また、昭和60年に開催された科学万博「つくばエキスポ'85」では、各パビリオンなどの施設の審査、許認可を行う行政機関に建築主事として従事。文字通り茨城県の成長・発展に建築行政の立場から関わり、大きな貢献を続けてこられた先輩会員。

——印象に残っている仕事を教えてください。

高度成長期、「無から有へ」の時代に数々のよい思い出があります。また、住宅課時代、建設大臣賞、日本建築学会賞などを受賞した「六番池団地」(昭和51年竣工)などで、当時の都市計画課長であった蓑原敬氏と働いたことが印象に残ります。

——趣味として続けられていることはありますか。

歩くことなど健康増進全般と書道を続けています。また、趣味ではないですが、現在は町内会役員や水戸市納税組合長を引き受けており、今後も地域社会への貢献を続けていければと思っています。



「真面目がいちばんです。日々研鑽し、責任ある行動を」

池田 剛氏 (日立支部)

昭和10年生まれ/昭和37年入会/会員歴51年

【主な経歴】北海道網走生まれ。昭和23年、農地解放を機に福島に移住し、就職をきっかけに茨城へ。昭和36年に日立市内の建設会社に入社し、すぐに二級建築士の資格を取得。以来、建築畑一筋を歩み続け、昭和44年に池田建築設計事務所を設立して現在に至る。地域を愛し、毎年建築士会会員として、日立市の耐震診断、耐震改修計画や建築パトロールに積極的に携わる。また、日立市職業少年探検団の指導者、日立建設高等職業訓練校講師も務め、福祉住環境ボランティアグループも主宰。文字通り、建築を通じてさまざまな分野で地域に根差した貢献を続ける先輩会員。

——建築士会の活動で印象に残ることは？

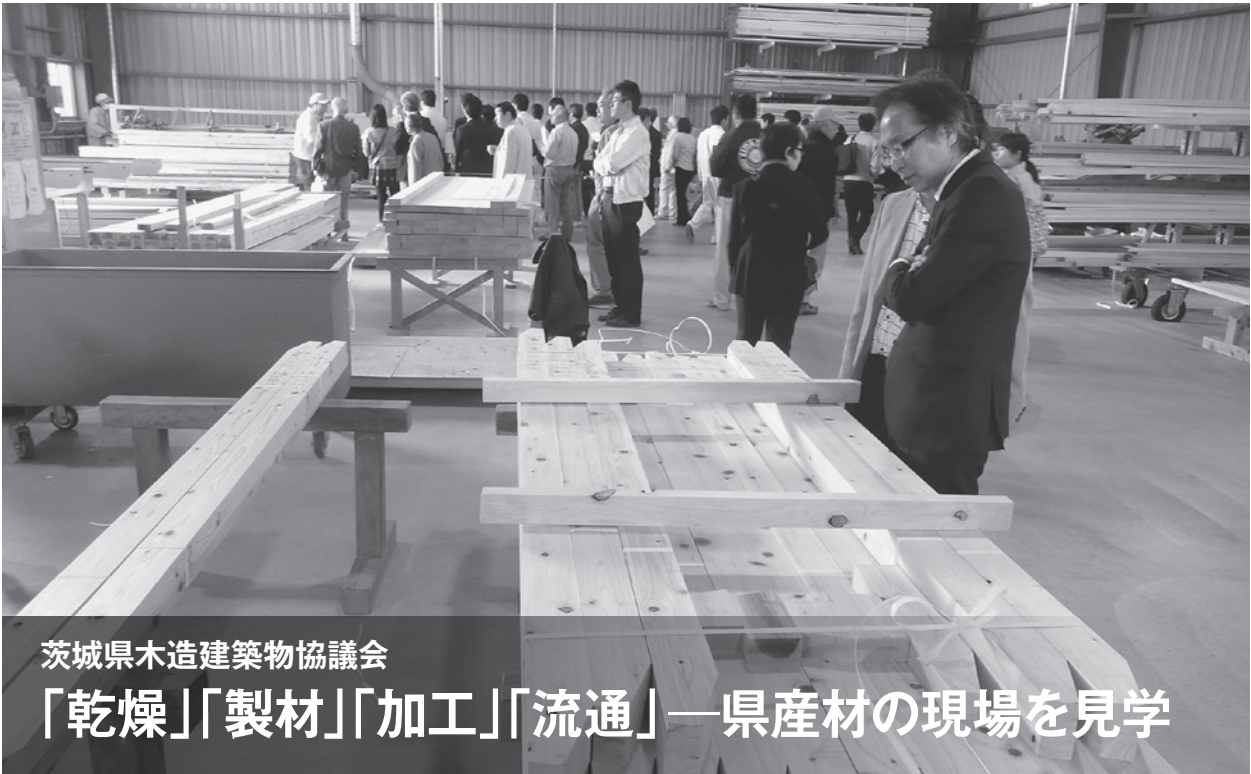
旧多賀支部副支部長として、日立支部との合併に貢献できたことがいちばん印象に残ります。

——趣味として続けられていることはありますか。

将棋は下手の横好きで続けています。ガーデニングも好きで、庭先には植えてから約40年経つ“アロエ君”が、2mを超す巨大な姿に育っています。毎日、通学途中の子どもたちが「すごいね!」と目を輝かせています。私も日々眺めて楽しんでいます。

——後輩へのメッセージをお願いします。

真面目が第一です。日々研鑽し、責任ある行動を。そして、社会に貢献する気持ちをつねに忘れずに。



茨城県木造建築物協議会

「乾燥」「製材」「加工」「流通」—県産材の現場を見学

筋違用に加工された木材

昭和25年に建築基準法により大型建築物の木造化が禁止されて以来、長い間木造の大規模建築は制限されてきたが、その後、耐火性能があれば建築可能となり、平成22年10月には林野庁より「公共建築物における木材の利用の促進に関する法律」が定められ、「低層の公共建築物は、原則としてすべて木造にしなければならない」という方針が打ち出された。学校や幼稚園など公共建築をできる限り木造化し、国土の約70%を占める森林の、眠れる資源である木材を生かし、林業を活性化するというのがその狙いである。

本会では昨年より木造技術者を育成するための「木構造技術者育成講座」を年4回開催。本年度も4月19日(金)に第1回目が開催され、93名が受講した。今後も引き続き年度内に4回ほど開催される予定。

また、昨年発足した「茨城県木造建築物協議会」の会合において、木材加工工場、木材を利用した実例現場の見学会などが企画され、その第1回目が、4月23日(木)に常陸大宮市「宮の郷工業団地」内の木材流通加工関連施設で開催された。当日は53名が参加。「県産材展示・研修施設」において、茨城県木材協同組合連合会打越会長および本会柴会長が挨拶し、その後各担当者より施設概要の説明があり、それぞれの施設の見学となった。広大な敷地内には木材流通センター、木材乾燥施設、ラミナ製材工場、原木加

工流通施設、プレカット加工施設等の8つの施設があり、杉や桧の原木は樹皮から大鋸屑まですべて無駄なく利用され、各施設が各々の役割を担うことにより県産材の利用促進が図られていることが見て取れた。施設見学後は、大震災で被害を受け、今後大修理が予定されている徳川光圀公ゆかりの「西山荘」を見学し、現地解散となった。「茨城県木造建築物協議会」では今後もこのような見学会を数回実施していく予定。



分類される前の原木



工場内で部品化された木材

常陸大宮地区探訪

階段を50m下り、
御前山ダム「ダム底」へ。

御前山ダムにて。上の囲みの写真はダム底のトンネル内。

平成25年3月23日(土)、茨城県建築士会県北ブロック協議会主催による「常陸大宮地区探訪」が行われました。この事業は、ひたちなか支部が企画運営し、同支部管内を順次めぐり、普段なかなか見ることのできない場所や建築物、名所旧跡などを見学して回る企画です。近くにあっても何かきっかけでもない限り出かけられないような、身近な場所を再発見するミニ見学会です。

当日は、県北ブロック所属の各支部より22名の参加がありました。ふり出しはひたちなか市役所。東海村役場を経由し、常陸大宮市役所で全員集合となりました。まず初めに訪れたのは御前山ダムです。ここは農林水産省関東農政局の管轄で、同職員より構造概要などの説明を受けた後、いよいよダム底へ。約50mもの地底にある点検監視用の通路に案内していただきました。一般の人は決して入ることのできない場所です。通路はすべて階段。行きは下りなので「よいよい」でしたが、帰りは登りで「こわい」。息も絶え絶えでした。何となく神秘的なトンネルで、一人では来たくないかも…。

次に、水戸黄門で有名な「風車の弥七の墓」に立ち寄り、お参りしてきました。ここも、立派に整備されていて一見の価値あり。昼食は、旧美和地区の高部にある萱葺き屋根の古民家「やきやしんたく」で手打ちそ

ばを堪能。その後一路栃木県境まで車を走らせ、茨城・栃木両県にまたがる「鷲子山上神社」での見学と参拝。最後に常陸大宮市内に戻り、ミニ懇親会を開催して、終了となりました。

来年は那珂市に場所を移し、「那珂地区探訪」を予定しています。お楽しみに。



茨城・栃木をまたいで(鷲子山上神社)



昼食場所の「やきやしんたく」前



「東京スカイツリー」視察。 その圧倒的な高さ 構造体の力強さを体感!

県南ブロック協議会の平成24年度事業として、3月9日(土)に、東京スカイツリーの視察見学会を実施しました。県南各支部より会員およびその家族97名の参加がありました。

私たち建築士の性^{さが}でしょうか、新しいものは見たくなり、触りたくなり、高いものには昇りたくります。そういうわけで今年度の事業は、全員一致でスカイツリーに決まりました。しかしスカイツリーの人気は非常に高く、団体の申込みは6カ月前から希望日に予約することなど至難の業。でもそれをなんとかするのが建築士(?)。

スカイツリーについては以前、建築士会の講演会で聞いてはいたものの、近くから見るのは初めて。その

高さや構造体の力強さには圧倒されました。長蛇の列を横目に団体予約の私たちはスイスイと分速600mのエレベーターの中へ。350mの展望デッキはさすがに高く、ドアが開くと同時に大パノラマが目の前に広がります。450mの展望デッキへは、ちょっと並んで次のエレベーターに乗ります。ガラス張りの空中回廊散歩、この100mの差は大きい。高さに満足。このような設計や施工に携わることは一切ないにしても、日本の技術力になにか誇らしいものを感じ、明日からも頑張るぞという気持ちが湧いてきたのは私たちだけではないと思います。

その後浅草寺界隈を散策し、伽藍の五重塔とスカイツリーを並べて見ながらバスに乗り、帰路に就きました。



東京近郊建築視察日帰りツアー第4弾！

「渋谷ヒカリエ」「浅草文化観光センター」「ホキ美術館」

ホキ美術館前で

「東京近郊の建物を日帰りで気軽に楽しもう！」そんなフレーズで始まった企画も、好評につき第4回目を迎えました。

25名ほどの参加で一路東京へ、まずは「渋谷ヒカリエ」です。渋谷の再開発の中心で最初に誕生したランドマークタワー、地上34階建ての複合ビルです。世の中を変える光になるという意志を込めて名付けたそうです。透明のファサードが印象深く、そこを行き交う人々が光のように輝く、そんな設計意図を感じる（本当かな？）建物でした。

次は「浅草文化観光センター」。隈研吾建築都市設計事務所の設計です。浅草雷門の目の前にその建物があります。印象は「バラック建築か!」。低く横につながる浅草寺の仲見世通りに対して、箱を縦に積み上げたように連結してつなげる。まさにここ浅草にあるべしというインパクトの建物です。また当日は、担当した設計士の方に建物の案内と設計趣旨説明をしていただ

きました。ありがたく、感激です。

さて最後は「ホキ美術館」です。鉄筋コンクリート打ち放し、宙に浮いた長方形の建物は静寂な気品に包まれ、展示してある写実絵を一層際立たせています。感動！

一年にせめて数回は、建築家として味わいたい「こんな感動」。期待を裏切らない、いつもの企画でした。富田事業委員長をはじめとする委員会の皆さまに敬意を表し、また参加した皆さまにお礼を申し上げ、報告といたします。



浅草文化観光センターにて

茨城県ガス協会

W発電

ガ、スマート!



大地の恵み「天然ガス」と天の恵み「太陽光発電」を活かした

ENE・FARM × 太陽光発電

「エネファーム」と「太陽光発電」の組み合わせで一段と環境性を高めます。さらに「エネファーム」で作った電気を優先使用するので、太陽光発電の売電量がアップします。

経済性 W発電によるお得な光熱費

環境性 太陽光と天然ガスのクリーンハーモニー

- 筑波学園ガス株式会社 リビング開発グループ
〒305-0817 つくば市研究学園D35街区5 tel.029-848-5151
- 東京ガス株式会社 常総支社
〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2517 tel.0297-62-2807
- 東京ガス株式会社 日立支社
〒317-0073 日立市幸町1-22-2 tel.0294-22-4131
- 東日本ガス株式会社 リビング営業部
〒302-0011 取手市井野32 tel.0297-72-3165
- 東部ガス株式会社 茨城支社
〒310-0015 水戸市宮町2-8-14 tel.029-231-2241
- 東部ガス株式会社 茨城南支社
〒300-0035 土浦市有明町2-49 tel.029-821-1107
- 東部ガス株式会社 茨城南支社 守谷営業所
〒302-0018 守谷市立沢1946-2 tel.0297-48-1354
- 美浦ガス株式会社 営業課
〒300-0425 稲敷郡美浦村興津1299 tel.029-885-1221



東海村：白方コミュニティセンターにて

ひたちなか支部では、青年部会主催により、平成25年3月9日(土)17時から、東海村にある白方コミュニティセンターにおいて、『地盤調査を理解しよう』と題し、住宅地盤の基礎知識、解析、地盤補強のポイントに関する講習会を開催しました。年度末の多忙ななか、青年部会を含め、14人も会員の皆さまに参加いただき、講師には、地盤調査の解析や地盤改良の工事を数多く行っている(株)トラバースから、設計室長 相沢 彰彦氏をお迎えしました。

研修会では、「地形図を見極める方法」や「地盤沈下の可能性の有無」、「液状化の可能性の程度について」など、住宅地盤全般についての専門的な解析方法をわ

かりやすく説明いただきました。住宅設計において実施されているスウェーデン式サウンディングの調査結果を的確に把握することで、適切な地盤補強手段・手法を得られるなど、解析者ならではの実践に即した説明に、参加者からも多くの質問が寄せられました。

われわれにとって、震災後における地盤に関する知識は極めて重要な構造知識の一部となってきました。今回の講習会を経て、地盤調査(スウェーデン式サウンディング)を理解し解析することができました。施主の皆さまによりいっそうの安心感を与えられるよう、この講習を今後の業務に少しでも役立てていただければと思っています。

雨。

その一滴が、
建物に大敵。

業務案内

- 一般建築、中高層ビルに関する防水全般
- 雨漏り、水漏れ調査及び施行
- 外壁吹付工事(割れ補修)
- 各種工事に関するメンテナンス

植田防水工業株式会社

本社：水戸市八幡町10-71 TEL 029 (227) 4181 FAX 029 (225) 3201
<http://www.uedabousui.com>



勝田パークボウルにて

平成25年3月30日(土)に、ひたちなか支部のボウリング大会が開催されました。私にとっては、平成24年6月に建築士会へ入会してから、初めてのボウリング大会。小学生の娘と一緒に参加させていただきました。

今回の目玉は、優勝商品の「某有名携帯ゲーム機」です。娘のためにお父さんががんばっちゃうぞと意気込んでいましたが、私のアベレージは100前後。2ゲームの合計で争われるため、優勝するのはとても難しいと思っていました。

1ゲーム目は、109と私本来の実力を出し切りましたが、優勝争いには40ピンも差をつけられていました。しかし、2ゲーム目には周りの方々のアドバイス、緊張

をほぐしてくれるKさんの「連続ファール」のおかげで、私に神様が舞い降りてきました。人生で2度目の180越えで、奇跡の優勝！娘は、優勝したかっこいいお父さんではなく、いただいた優勝商品見て大喜びでした。さらに、娘の参加賞までご用意いただきまして、大会運営の方々には、とても感謝しております。また、皆さまに暖かく迎えていただき、帰る頃には、娘は私が近くにいなくても雑談できるまで打ち解けていました。親子二人にとって良い思い出となったことは、言うまでもありません。ありがとうございました。最後に、勝ち取った優勝商品ですが、充電器が付属されておらず、後日買いに行ったというおまけ話がつきました。



支える仕事、角藤の力。

《当社取扱商品》

＜基礎工事＞

- ・既成杭 ・高支持力杭
- ・摩擦杭 ・現場造成杭
- ・地盤改良 ・山留 他

＜内外装工事＞

- ・金属複合パネル ・金属パネル
- ・アルミハニカムパネル
- ・押出成形セメント板
- ・ALC板 ・グラスル
- ・外断熱 ・陶板 他

＜建具工事＞

- ・ビル用サッシ
- ・学校間仕切
- ・ハンガードア
- ・カーテンウォール 他

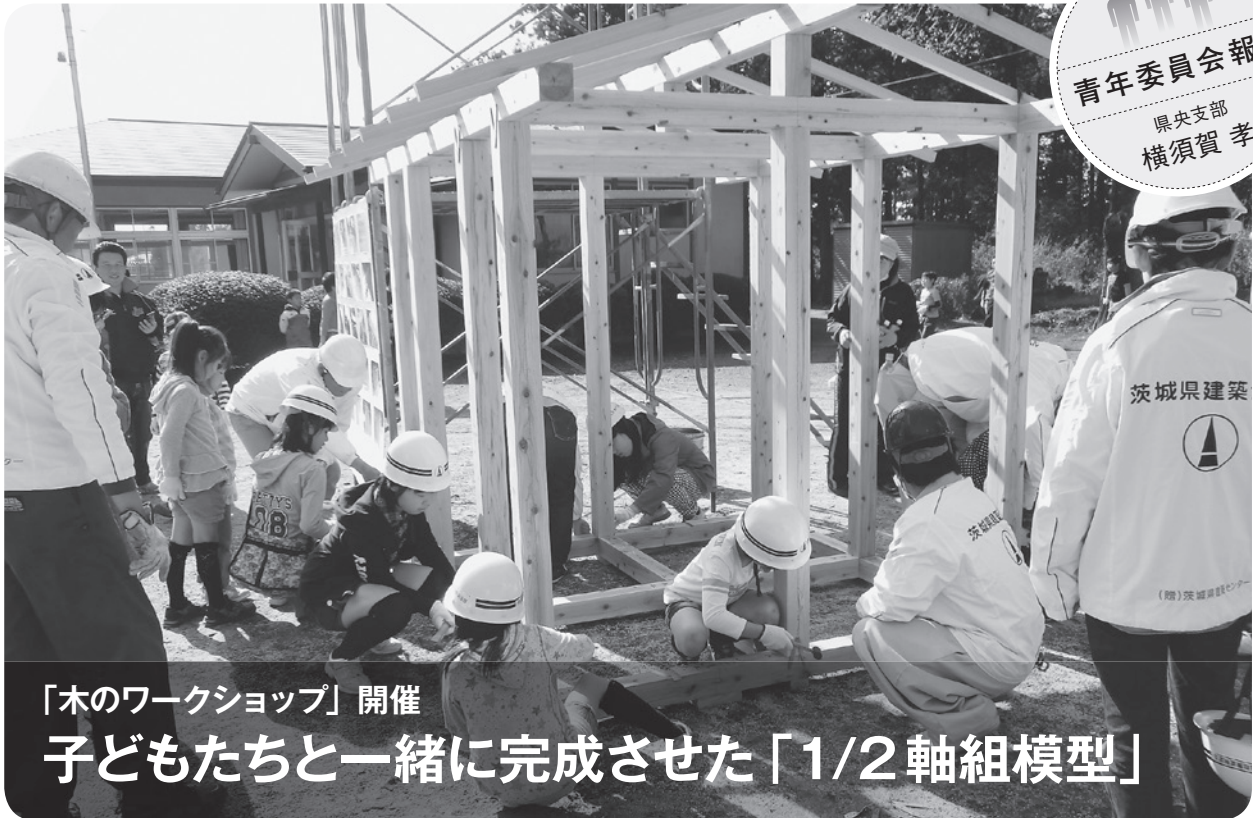
＜屋根・防水工事＞

- ・金属屋根
- ・シート防水

＜開閉式上屋工事＞

株式会社 **角藤** 水戸支店

水戸市城南2-1-20 南ウイング水戸ビル
TEL.029(225)2077 FAX.029(221)6245



「木のワークショップ」開催 子どもたちと一緒に完成させた「1/2 軸組模型」

内原：播田実農業集落センター

昨今、公共建築物等木材利用促進法の施行により、建築材料のなかでも、木材の活用が見直されています。また茨城県は豊富な森林資源を持つこともあり、「いばらき木づかいアクションプログラム」による県産材の利用促進や「茨城県森林湖沼環境税」を導入するなど、森林や湖沼・河川などの自然環境を、良好な状態で次世代に引き継ぐための県独自の取り組みも行われています。

そのようななかで、茨城県建築士会としまして、各種イベント等で県産材利用のPR活動を行ったり、定期的な木工教室を開催してきました。また震災の年には県北の「木の文化塾」との共同企画で、親子で作った256台の縁台を、宮城県と福島県の仮設住宅に暮らす方々に届ける活動も行っています。

これらの活動の一環として、青年女性委員会では、「茨城の木の魅力を開発しよう」をテーマに、『木・ふれあい活動』木のワークショップ：「子供たちと1/2軸組模型を造ろう!」というイベントを企画しました。

子どもたちと一緒に、建築士自身も楽しむ!

活動目的は、次のように定めました。

- 1 地元の子供たちと青年建築士と一緒に1/2の軸組を造ることを通し、未来を担う子どもたちに木の魅

力に触れてもらい、組み立ての楽しさを体感することで、建築に関わる職業への魅力を発見する場としてもらう。

- 2 青年建築士としても、活動を通じてさらに木への理解を深め、新たな利用方法の発見につなげたり、子どもたちに説明することで自分自身の見識を深める。
- 3 活動のなかで、木材工事関係者とのネットワークづくりや仲間づくりも活発になり、今後の会の活動に広がりを持たせる。
- 4 実際にでき上がった軸組を基に物置を製作し、それを寄贈することで、ご協力いただいた地区の方々への貢献とする。
- 5 子どもたちと一緒に、あるいはそれ以上に、建築士自身もイベントを楽しむ。

子ども会や地元の大工さんにも協力いただく

当日の準備としては、まず最初に、子供たちでも作業しやすくするために、通常の2分の1の大きさの軸組図を作成。材料には地場産の材木を使用し、地元の工務店に加工をお願いしました。また、水戸市の播田実(ハタミ)地区の子供会の方々のご協力を得て、子共会連絡網を使わせていただき、小学生の参加者も募りました。さらにイベント当日には、地元の建築組



全員で楽しみながら1/2軸組模型を完成！それを基に物置を製作し寄贈。

合青年部長の大工さんにも参加していただきました。報道関係者へもイベント開催を告知し、当日、取材をお願いすることができました。

これからも「建築士」のファンを増やしていく

天気にも恵まれたイベント当日。実際に何人の子供たちが参加するのかわからず、ドキドキしながら待っていると、28名もの子どもたちが集まってくれ、盛大にイベントを開催することができました。

作業開始前に一通りの作業内容の説明を行い、その後、子供たちの安全対策のための身支度を整えました。次に子供たちに数グループに分かれてもらい、建物の建て方や釘打ち等を、大工さんの指導の下で、皆で協力しながら進めていきました。高所から梁を設置

する際には歓声上がるなど、楽しみながら建築を体験しました。建物ができ上がった後は上棟式を行い、屋根の上からお餅やお菓子をまいて参加した子どもたちの労をねぎらいました。その後で、お土産用に、木の端材を使った写真立て作りを一緒に行いました。

最後に、参加した子供たちにインタビューを行い、感想や将来の夢を聞きました。何人かの子どもは「将来建築士になりたい!」と語っていました。

今回参加してくれた子供たちのなかから、1人でも未来の建築士が生まれてくれれば大変うれしく思います。今年度以降も、場所や内容を少しずつ変えて子ども向けの事業を継続し、「建築士」という職業に親しみや憧れを持つ子どもたちを増やしていければと考えています。

Our Best Solution for Your Best Smile

レストランの『ソムリエ』はオーダーや好み、予算などを考えて、最適なワインを選んでくれます。私たちも知識、技術の全てを使い、まごころをこめてお客様に満足いただける製品を提供したい。カッコよくいえば『ものづくりのソムリエ』でありたいと思っています。

お客様の『最高の笑顔』のために。

KONOIKE
KONOIKE CONSTRUCTION CO.,LTD.





ラブアークセミナー

「家庭用燃料電池エネファーム・最新ガス機器の体験型セミナー」に参加して

水戸市：東部ガスショールームにて

平成25年3月21日(休)、ラブアーク&県央支部女性部会との合同のセミナーが、東部ガスショールーム『ガスタ』にて開催されました。オール電化住宅がますます増えている昨今、ガスの良いところを再発見させるセミナーとなりました。

2年前の東日本大震災以来、受注や問い合わせが右肩上がりに増えたそうです。震災直後、水戸市内でも停電はありましたが、ガスは止まらなかったため、災害に強い印象を与えたようでした。また、家庭用燃料電池「エネファーム」は、天然ガスから水素を取り出し、酸素と化学反応させてエコな電気を生み出し、同時に発生する熱でお湯も沸かせ、効率的だそうです。温水での床暖房「温水ファンヒーター」も、乾燥せず心地よい暖かさでした。

ガスコンロとIHクッキングヒーターの性能比較実験では、IH用の高価な熱伝導率のよいフライパンではIHの勝利ですが、普通のフライパンではガスの方が圧倒的に早かったのです。ガスは均等に熱が伝わるのだそうです。それに、IHは火が出ないので安全と思っているかたが多いと思いますが、実際には火傷も多く、使い方を間違えると火も発生します。

最後は「ハイグレードコンロ」によるパーティーメニューの紹介でした。エビチリとチーズを乗せたものをグリルで焼いた薄切り食パンの試食があり、とても美味しかったですし、コンロの性能の進化にも驚かされました。住宅を建築する際、オール電化と決めつけずに「ガスも考慮してみませんか?」とご提案してみるのも良いかと思います。

有限会社

清水忠建築設計事務所

構造設計一級建築士
代表取締役

清水 忠

(一社) 茨城県建築士会会員

(一社) 茨城県建築士事務所協会会員

日立市滑川町2丁目24番12号 TEL 0294-22-6028 FAX 0294-24-6936



女性部報告

中村 眞紀子
久保田 綾子



わくわくセミナー
今年度も、仕事に活かせる
充実の企画が目白押しです。

つくば市：ブラッスリー ドゥ・ブラにて

1月「わくわくセミナー企画会」開催！

わくわくセミナーでは例年、年明け早々に新年会を兼ねて次年度のセミナーを協議する企画会を行っています。今年は1月13日、つくば市のイタリアンレストランを会場に実施しました。

年間9回のセミナーをどんな内容にするか、フランクに意見を出し合い、それぞれについて皆で検討しテーマを絞り込んでいきます。概要がまとまれば、次は担当者決め。仕事と家庭で忙しいのは皆同じですが、これまで培われた協力体制がものをいい、今回もスムーズに決まりました。

会員の皆さまの参考になり、仕事に活かせるラインナップになっていると思いますので、今年度もぜひご参加ください。(中村)

2月「地中熱利用住宅でエコな暮らし」

地中熱は、再生可能エネルギーの中でもエネルギー変換効率が高く、しかも天候に左右されないので安定的に利用できるという特長があります。また、地中熱ヒートポンプシステムは、地中で熱交換が行われるので、ヒートアイランド現象の抑制なども可能です。東京スカイツリー地区にもこのシステムが導入されています。100m～150mの採熱専用杭を地中に埋設するため、初期導入コスト、地質情報の整備などの課題もあるとのこと。まだまだ自分が設計段階において提案するには高嶺の花の感もありますが、住宅分野では、地中熱利用の「ネットゼロエネルギーハウス」の建築が始まっているとのこと。今後の動向に注目していきたいと思います。(久保田)

誇れる仕事を未来へ… 笑顔あふれる街づくりにチャレンジ



総合建設業

すずぬい

鈴縫工業株式会社

代表取締役 鈴木 一良

茨城県日立市城南町1丁目11番31号 TEL 0294(22)5311(代) <http://www.suzunui.co.jp>



第16回会員美術展

平成25年3月28日(木)～4月1日(月) 茨城空港1階イベントスペース

今年度は、茨城空港を会場に会員美術展を開催。たくさんの方から力作の数々が出品されました。出品者と作品名をご紹介します。

「会員美術展」展示作品提供者一覧(敬称略)

[絵画] 市川三和子(久慈支部)「贈り物」(4号)／増澤敬(県央支部)「夢見るワタシ」(8号)／大槻薫(県央支部)「みんな集まれ」(18号)、「もの言えぬ魚・子」(50号)、「顔」(色紙)

[水彩画] 守田義広(県央支部)「雪山」(4号)

[書] 青山孝夫(土浦支部)「古今和歌集より」(額装)／柳下文江(県央支部)「漢詩」(軸装)／高槻けい子(県央支部)「木洩れ日」(軸装)

[写真] 青木博(古河さしま支部)「古河提灯竿もみまつり」(A3)／浅野利光(県庁支部)「紅葉・袋田の滝」(半切)、「つづじ咲く好文亭」(額装)／平沼清美(県央支部)「ふたつの顔」、「どんぐりの落ちる頃 I」、「どんぐりの落ちる頃 II」／木村忠夫(県庁支部)「春 東京都 黄色い江」、「夏

新潟県 足元の星屑」、「秋 茨城県 焰の中の蜻蛉」、「冬 福島県 足跡」(A4)

[CG] 金子英三郎(県庁支部)「CG-16『陽春』」

[水墨画] 篠根みさを(県央支部)「麗華」、「萌春」(額装)

[陶芸・工芸等] 酒井順子(土浦支部)「洗面ボール」／高橋せつ子(鹿島支部)「錦龍頭観音降臨之図(押花)」(額装)、「聖観音(押花)」(掛軸)／五十君智子(土浦支部)「ビーズアクセサリ A」、「ビーズアクセサリ B」(コルクボード)

[建築作品パネル] 赤木裕子(土浦支部)「暮らしを楽しむ…ゆとりの住まい」、「古民家再生利用…ぬくもり住宅」／塙万治(県央支部)「ハプナ ホテル」、「美容室ライブ 新築工事」／天茂彦(県央支部)「茨城マルシェ」、「まちなのにぎわい」、「まちを見る、まちを考える、まちを創る」、「まちに住む」／塚本博幸(土浦支部)「田園風景を眺める黒い家」、「公園と家具と暮らす家」、「大きなリビングと中庭を持つ小さな家」、「美しい屋根が連なる家」筑波山を楽しむ家

豊かさへのかけはし

品質保証の国際規格 ISO 9001 認証登録

ISO9001認証登録



総合建設業 **多賀土木株式会社**



JQA-QM5986

代表取締役社長 **松山 昭彦**

本社／日立市東多賀町 2-2-3 TEL 0294(36)0111 FAX 0294(32)0040
高萩営業所・ひたちなか出張所



高橋商事株式会社

—— 営業御案内 ——

工事部

- ・上・下水道工事設計施工
- ・給排水衛生空調設備工事設計施工
- ・合併処理浄化槽工事設計施工
- ・機械器具設置工事設計施工
- ・土木・舗装工事設計施工

石油部

- ・石油製品販売
- 昭和シェル石油(株)販売店
- ・各種損害保険取扱
- (株)損保ジャパン代理店

LPG部

- ・LPガス販売
- ・ガス関連商品販売
- ・ガス設備工事設計施工

代表取締役 高橋 正光

■本社
〒311-1114 茨城県水戸市塩崎町753-1番地
TEL. (029) 269-3066 (代)
FAX. (029) 269-4130

■営業所 大洗インターSS
〒311-1115 茨城県水戸市大串町957-1番地
TEL. (029) 269-2135
FAX. (029) 269-5577

身体に優しい居住環境を考える 建築設計監理. 建築確認. 開発行為. 官公庁許認可代行

武村建築設計事務所

代表 武村 実

office 茨城県桜川市真壁町古城301-1
TEL 0296(54)2023 携帯 090-3319-4374 FAX 0296(54)2023
home 茨城県桜川市真壁町田1301番地4
URL <http://homepage2.nifty.com/arctake/> E-mail arctake@nifty.com

快適な住まい造りを求めて!

内装工事

金属工事

床工事

クロス
工事

防水工事

タイル
工事

屋根工事

ALC工事

吹付工事



茨城県知事許可(般-23)1523号

株式会社 奈良屋

代表取締役社長 横山 昌弘

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町 600-15
TEL.029-241-5141 FAX.029-305-8733
<http://www.naraya-corp.co.jp>

マイホームや事務所に塗って

省エネ対策 珪藻土壁

エコ・クイーン



エコ・クイーン7つの特色

- ①シックハウス問題解消
- ②ダニ・カビ・湿気・結露問題解消
- ③マイナスイオン一杯の抗酸化空気
- ④夏涼しく、冬暖かな住い
- ⑤住まう人、植物イキイキ空間
- ⑥ペット臭・タバコ臭問題解消
- ⑦空気清浄機・除湿機・乾燥機不要

創業65年の壁のスペシャリストが、自信を持ってお勧めします。



株式会社 根子左

茨城県水戸市千波町2830-5
TEL. 029(241)4057 FAX. 029(241)7071
URL <http://www.nekosa.co.jp/>

建築を息づかせるもの

建築は、

- その存在を象徴するロゴやシンボルマーク
- 空間構成の伝達や導線を担うサインシステム
- そこでの活動を効果的に伝える各種メディア

などを得ることにより息づきはじめると私たちは考えます。

「わかりやすく、魅力的に」をモットーに。

私たちの仕事は、人と建築を結びます。

有限会社

平井情報デザイン室

茨城県水戸市笠原町 600-17
朝日ビル 206 〒310-0852

TEL 029-291-5899 [担当: 平井]

FAX 029-305-5257

n.hirai@info-design.co.jp



HIRAI INFO-DESIGN STUDIO
CONSULTANTS IN VISUAL COMMUNICATION



ISO14001認証取得

imageRUNNER
ADVANCE

株式
会社

フジタ ビジネス マシンス

水戸市城南1-2-8 (常陽銀行水戸駅南支店前)

☎(029) **225-1755** (代) FAX(029) 225-1712

●お気軽にお電話下さい、営業マンがお伺いいたします。 <http://www.fujita-bm.co.jp>



Fujiwa

選択の時代、住まいの個性化に挑む

総合建設業
一級建築士事務所

藤和建設株式会社

代表取締役 三澤 俊介
一級建築士

本 社 / 日立市鹿島町3丁目5-2 TEL 0294-21-0067(代) 工 場 / 日立市東大沼町1-1-22

和知商事株式会社

ALC・杭・地盤改良・耐火被覆・金属屋根・OAフロア・パーティション・
太陽光発電・雨水貯留・屋上緑化・壁面緑化・インターロッキング・平板



URL <http://www.wachisyuji.co.jp>

——— 本 社 ———

〒310-0013 水戸市若宮1丁目2番7号
TEL (029) 224-6361(代) FAX (029) 224-6504

——— つくば営業所 ———

〒305-0061 つくば市稲荷前8-1布川ビル2F
TEL (029) 856-8660(代) FAX (029) 856-8749

地下につくる水空間。

プラスチック貯留材
クロスウェーブ

クロスウェーブは雨水の
有効利用を提案します。

流出抑制

開発事業にともなう流出抑制調整池

区画整理や造成などの開発事業にともない、地下調整池の施工に活用し、雨水をその土地内で流出抑制します。

雨水利用

生活用水・工業用水・農業用水

生活雑水としては庭への散水や洗車用の水、トイレ洗浄水に、工業用水としては工場での利水に、農業用水としては作物への散水をはじめ洗浄水にも利用できます。

防火用水

防火水槽・防災備蓄用水

貯水量 40 トンクラスの防火水槽から、貯水量 1 万㎡クラスの大きな施設にも十分対応でき、震災時の緊急生活用水や消火用水としても備蓄できます。



汚染土の仮置場処理対策製品
土木建設資材の総合商社

株式会社 **建友**

代表取締役 根 本 勇

本 社 茨城県水戸市吉沢町333-4 電話 (029) 247-8405 (代表) FAX (029) 248-0155

支 店 茨城県鉾田市造谷1529-99 電話 (0291) 37-1335 FAX (0291) 37-1335

E-mail: office@k-kenyu.co.jp

Human social technologies 電気・通信・防災・セキュリティー

ミナト防災通信工業 株式会社

～ Minato Bousai Co.Ltd. SINCE 1974 ～

茨城・東京・神奈川

www.minatobousai.co.jp

ニセ建築士をなくそう

国土交通省により発表されたニセ建築士は全て紙の免許証を偽造していました。(2012年7月11日・9月4日 報道発表)
依頼主との信頼関係を深めるため、カード型免許に切替え・提示しましょう。

わたしたちは
**カード型免許への
切替え、
提示の普及活動を
すすめます**



カード型免許証明書は

ICチップ内蔵により、
偽造・変更が
極めて困難です

顔写真入りで、
契約時の信頼性が
高まります

建築士会
CPDカード*
としても使えます



*建築士会CPD制度に参加している建築団体・企業が主催する講習や研修などで、ICカードリーダーにタッチすることにより、出席記録、単位登録ができます。

(公社) 日本建築士会連合会・都道府県建築士会



古河市地域交流センター「はなももプラザ」(夕景)



一般社団法人
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>